

設計目標書

本製品は下記要件を満足するか否か未確認です。従って、本製品がこれら要件を満足することを保証するものではありません。また、これらの要件は都合により変更する場合もあります。詳細は当社技術部門にお問い合わせ下さい。

本書中に「本規格」と引用している箇所は全て「本設計目標書」と読み換えて適用願います。

1. 適用範囲

1.1 内容

本規格は、2.5mmソケットハウジング9極の製品性能、試験方法、品質保証の必要条件を規定している。適用製品名と型番は付表 1 の通りである。

2. 参考規格類

以下規格類は本規格中で規定する範囲内に於いて、本規格の一部を構成する。万一本規格と製品図面の間に不一致が生じた時は、製品図面を優先して適用すること。万一本規格と参考規格類の間に不一致が生じた時は、本規格を優先して適用すること。

2.1 AMP 規格

- A. 109-5000 : 試験法の一般条件
- B. 114-18020 : 取付適用規格 ϕ 2.5mmコンタクト システム圧着条件
- C. 411-5876 : 取扱い説明書 ϕ 2.5ソケット ハウジング9極
- D. 501- : 試験報告書

2.2 民間団体規格

- A. JASO D605 自動車多極コネクタ
- B. JASO D7101 プラスチック成形部品の試験方法
- C. JIS C3406 自動車用低圧電線

3. 一般必要条件

3.1 設計と構造

製品は該当製品図面に規定された設計、構造、物理的寸法をもって製造されていること。

3.2 材 料

A. コンタクト

種類	材料	仕上げ
2.5 φ ソケット コンタクト	銅合金	部分金めっき
ワイヤーシール	シリコン	—//—

Fig.1

B. ハウジング

- | | | |
|----------------|---|-----|
| a. 9極ソケットハウジング | : | PBT |
| b. カバー | : | PP |

3.3 定 格

使用温度範囲 −30℃～105℃（周囲温度＋通電による温度上昇も含む。）

3.4 性能必要条件と試験方法

製品は Fig.2 に規定された電氣的、機械的、及び耐環境的性能必要条件に合致するよう設計されていること。試験は特別に規定されない限り室温下で行われること。

3.5 性能必要条件および試験手順の要約

項 番	試 験 項 目	規 格 値	試 験 方 法
3.5.1	製品の確認検査	製品図面と AMP 取付適用規格の必要条件に合致していること。	目視により、コネクタの機能上支障をきたす損傷を検査する。
電 気 的 性 能			
3.5.2	耐電圧	端子は、亀裂、破損、曲がり、めっき剥がれ、錆等の欠点のないこと。ハウジングは、亀裂、溶解、ガタ、部品のはずれ等の欠点のないこと。沿面放電、フラッシュオーバー等がないこと。	嵌合したコネクタ。 1 KV AC 1 分間印加。
3.5.3	絶縁抵抗	100 M Ω 以上 (初期) 100 M Ω 以上 (終期)	嵌合したコネクタ。 隣接するコンタクト相互間、及びコンタクトとハウジングに、 500 V DC 印加。 Fig. 3 参照
3.5.4	リーク電流	10 μ A 以下 (初期) 1 mA 以下 (終期)	嵌合したコネクタを恒温恒湿槽 (60 $\pm$ 5 $^{\circ}$ C, 湿度 90 $\sim$ 95%) 中に 1 時間放置後 13V DC 印可。
3.5.5	コンタクト保持力 (主ランスのみ)	39.2 N 以上	コンタクト引抜力を軸方向に加えること。 操作速度 : 200 mm/分
3.5.6	コンタクト保持力 (主ランス+二重係止)	98 N 以上	二重係止時のコンタクト保持力を測定。 操作速度 : 200mm/分
3.5.7 《参考》	レバー操作力	150 N 以下	コネクタを仮係止状態にした後、完全に嵌合するまでレバーを移動させて操作力の最大値を測定する。

Fig.2

3.6 製品認定試験の試験順序

試験項目	試験グループ								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	試験順序 (a)								
製品の確認検査	1	1	1						
耐電圧	2								
絶縁抵抗	3								
リーク電流	4								
コンタクト保持力		2							
コンタクト保持力 (二重係止)		3							
レバー操作力 《参考》			2						

(a) 欄内の数字は試験を実施する順序を示す。

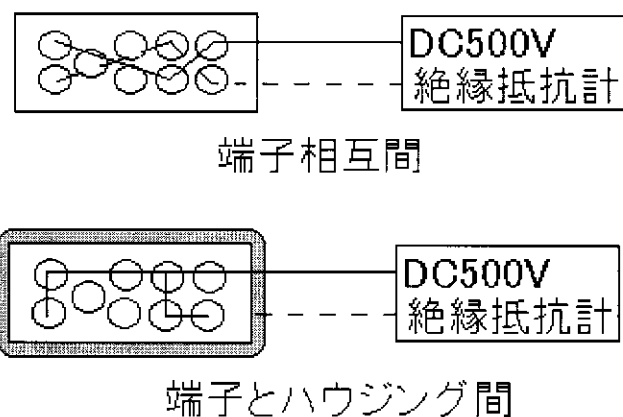


Fig. 3

